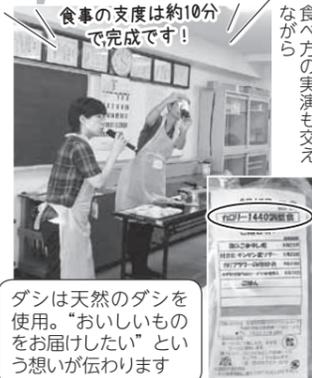


生協の夕食サポート(弁当) & 介護食の試食・展示会

9月16日 都島北地域活動委員会(大阪市) 毛馬コーポ集会所 参加41名



「介護食」の盛り付け見本
(左:ムース食、右:きざみ食)

「介護食」を試された感想

- 「うす味かな?」と思ったのですが、しっかり味付けされていておいしかったです。
- 調理時間が短く、細かく配慮されており安心しました。男性の私でもできそう...

介護食・健康管理食のポイント

- ①おいしさそのまま「冷蔵」で届きます。冷凍の方が日持ちもして管理がしやすいのですが、どうしても食感が落ちてしまいます。食事制限のある方にとって楽しみであるお食事がどれだけおいしく食べられるかは重要です。
- ②1食ずつ袋詰めされた状態で、5日分まとめて届きます。それぞれ指定日が大きく印字されています(消費期限はその2~3日後なので、指定日に食べられなくても大丈夫!)
- ③食べ方は簡単!「温め不可」のものはそのままお皿に盛り付けるだけ。「温め可」のものはお鍋に入れて、水から5~10分湯煎します。レンジで温めることもできます。
- ④体調に合わせてコースが選べ、メニューも豊富。メニューは管理栄養士が監修し、カロリーや塩分などが計算されています。

栄養バランスのよい健康を考えたお弁当をお届けする「夕食サポート(弁当)」と、今年4月から始まった「介護食・健康管理食」の試食・展示会を開催。組合員さんのみならず、組合員さんでない方にも知っていただく地域の人々とコラボして、当日は多くの方に参加していただきました。



夕食サポート(弁当)を製造している「カネ美食品」糸田さんから、衛生管理のお話を伺っていただきました。顔回りなどを何重にも覆い、異物混入対策に徹底されていることが分かりました。

うなぎ加工工場見学(川口水産)

10月14日 山田パル委員会(枚方市) 参加18名



「うなぎ」は毎回、官能検査(試食して泥臭さなど試験)で合格した物だけ製品になります。(左奥が上西工場長)



うなぎ蒲焼
(タレ・山椒付)
200g(2尾) 冷凍
次回企画: 12月1日

天然の稚魚シラスウナギの減少で絶滅危惧種に指定されたシラスウナギ。これからは「うなぎの蒲焼」を食べ続けるために現在の状況をうかがおうと、和歌山県有田市に工場がある川口水産に見学に行きました。

「シラスウナギはまだ生鮮が解明されていないと言われています。しかし今後、ワシントン条約で保護対象となれば輸出が規制される可能性があり、シラスが手に入らなくなるばかりか、外国で加工されたウナギが日本に輸入されることも考えられます。川口水産の自社の養鰻場でも、国によるシラス入荷規制などあれば協力をしているんですよ」と工場長の上西さん。この日は宮崎で育てられたうなぎが、3トンも運ばれてきていました。工場見学では、職人さんが鮮やかな手さばきで開いていく様子を見たり、焼きたてホヤホヤのうなぎ蒲焼が1尾ずつ包装されていくところを見ることができました。



今年から導入した、焼く前に小さい穴をあける装置。熱も通りやすくタレも染み込みやすい

さばいてすぐ、焼く工程へ



おいしい♡いただきます

今年から焼く蒸すなどの機械も少しずつリニューアル。「お値段も少し高くなってきたけれど、こんなにしっかりと管理されているのを見て納得!」心配もあるけどいつまでもおいしい「うなぎ」を食べられますように」と参加者も未来に希望をたくす機会になりました。

夕食サポート(弁当)・介護食について: <http://www.palcoop.or.jp/yushoku/>
☎0120-114-284 (月~金 9:00~20:00、土 9:00~17:00)

ピースフェスタ2016

9月3日 寝屋川東・北・中央・南地域活動委員会(寝屋川市) 寝屋川組合員会館 参加325名(うち子ども124名)

子どもから高齢者まで世代を超えて平和の大切さを考える機会にしてもらうことをテーマに、今年も寝屋川でピースフェスタが開催されました。去年までは違い、新しい組合員会館での開催のため、多少の不安もありましたが、総勢300人を超える参加があり、大成功に終わりました。

今年、初のスタンパラーがあり、参加者の方には、地雷レプリカやはたいたい粉づくり体験、すいとん試食など、順番に平和コーナーを体験してもらうことができました。また、ステージでは、地域の小学生「ゆらてつく」によるエイサーや、けん玉大会、「ミニトオリブ」による平和コンサートで盛り上がりしました。他にも、手づくりおもちゃや昔遊びを無料で体験できたり、手づくりパンやフランクフルト、おにぎり、カレーなどの食べ物コーナーもあり、親子で楽しいひとときを過ごしてもらえたのではないのでしょうか。

参加者からも、「平和を願う気持ちがあっても日常の中で改めて平和について考える機会がないので、良いきっかけになった」「小さい子どもにも戦争について話す機会となり良かった」との声もいただきました。これからも、引き続き平和活動にとりくんでいきたいと思えます。



地域の小学生「ゆらてつく」によるエイサー*



けん玉大会では、大人も子どもも真剣勝負!!



世代を超えて、平和のメッセージを書きいただきました!!

*エイサー→沖縄の伝統芸能

パルのお気軽カフェ

10月13日 西成地域活動委員会(大阪市) 玉出組合員集会所 参加43名(うち子ども6名)



CO・OP伊予柑 & レモンバター140g
次回企画: 12月1日

西成地域活動委員会のみならず、新しい玉出組合員集会所で初めて、パルのお気軽カフェを開催されました。当日はお天気も良く、委員さんたちは早くから準備。会場はテーブルセンターをかけた、ハロウィンを意識したテーブルコーディネートや、ホワイトボードには試食商品の袋の展示などで楽しい雰囲気。若い委員さんが多いので、試食商品の選択なども若いお母様や子どもたちも喜びそうな商品ばかり。

参加者も委員さんの幼稚園などのお友だちや、近くの接骨院に通われているご年配の組合員さん、小さいお子さんも同じ部屋で遊ぶ年齢幅が広い明るいとりくみになりました。開催時には自転車がいっぱいとなり、新しい組合員集会所への近隣の組合員さんの期待も感じられました。



このバターおいしいからワ、どれどれ?

参加者の方との会話も弾みます♪

新商品の「CO・OP伊予柑&レモンバター」や「CO・OPリンゴバター」も、カットしたトーストに乗せて試食を勧められておられました。薫り高いコーヒーや紅茶をいただきましたが、新商品のお味見ができ、購入のきっかけになるね」との声も。地域の組合員さんが集まれる新しい集会所で、委員会が今までのできなかったとりくみが開催されるのが楽しみです。

